

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実  
 施策 高齢者福祉の充実  
 基本事業 地域交流と社会参加の促進

事業名 **老人憩の家管理運営事業**

[0220]

部名	健康福祉部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	介護保険課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) ・老人憩の家 ・65歳以上の高齢者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 施設の維持管理・運営を適切に行い、高齢者が施設を快適に利用する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 施設の管理運営を指定管理者に委託する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	65歳以上の高齢者数	人	24,645	25,627	26,383	27,139
対象指標2	施設数	施設	4	4	4	4
活動指標1	指定管理委託料等	千円	10,327	10,265	10,855	10,370
活動指標2						
成果指標1	延べ利用者数	人	25,288	26,335	25,997	26,500
成果指標2	不具合件数	件	9	12	15	10
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	10,327	10,265	10,855	10,560
正職員人件費 (B)		千円	419	836	830	833
総事業費 (A) + (B)		千円	10,746	11,101	11,685	11,393

費用内訳	
21年度	需用費 927千円、委託料 9,928千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	高齢化と核家族化の進展により 外出 交流の機会が減少している。
------------	--	---------------------	---------------------------------

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

高齢者が団体単位、個人単位で参加、集える場所を設置し、運営管理を行うことは、高齢者が地域での生きがいのある生活を支える上で妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

高齢者クラブ活動や趣味の活動は高齢者の生きがいであり、このための会場を維持管理し確保することは生きがいづくりに対し貢献度はある。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

維持管理経費

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

維持管理経費

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

指定管理者制度による運用の効率化